日本GAP山形支部報

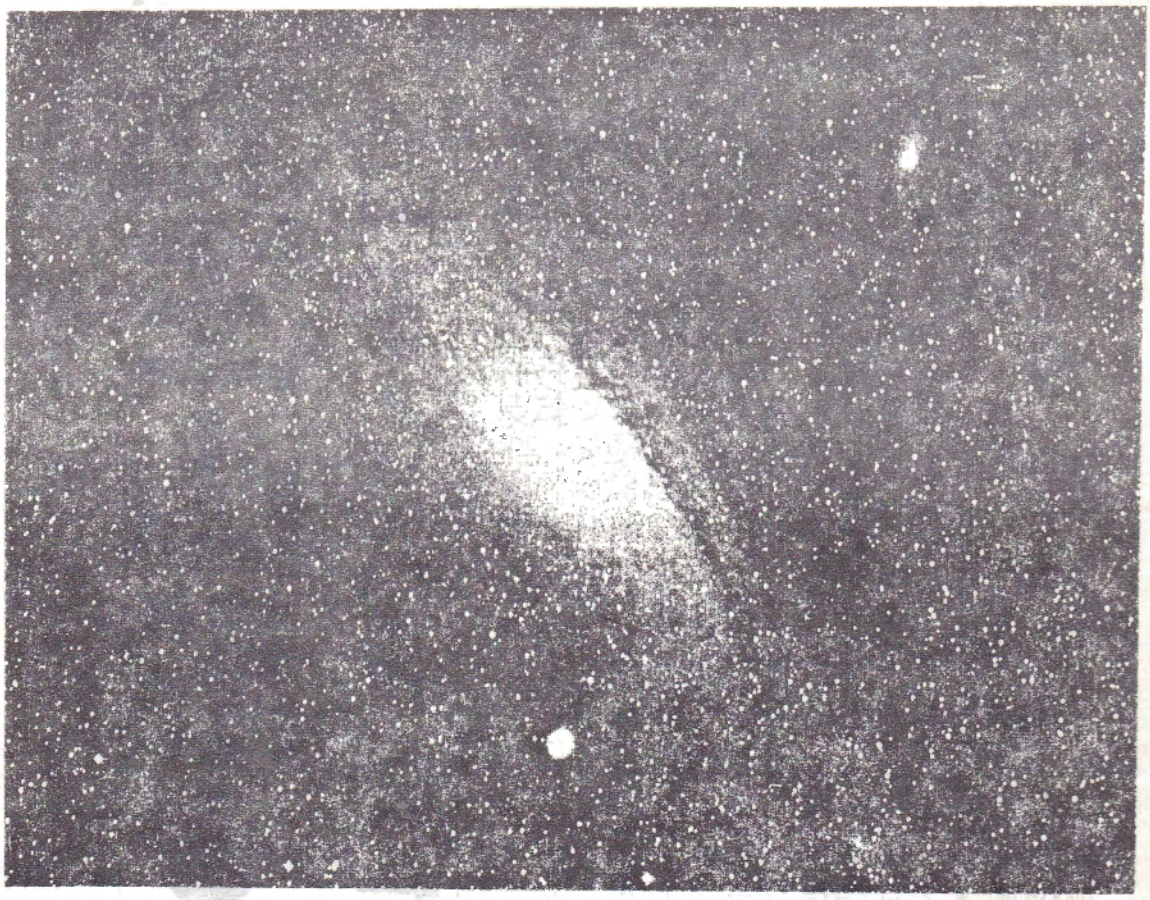
ユニバーサル メッセージ

No. 10

心と物質にたいするわれわれの現在の知覚力は，絶えず学習が行なわれる教室のなかでわれわれの住む場所を理解してそこに着席するために，因の領域にまで拡げられねばならない。

観察はわれわれの最上の教師であるが"因"を，または万物が相互に関連し合った目的を見ることをわれわれは学ぶ必要がある。

—— G. アダムスキ ——



日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ10

新生山形支部を激励 1～2 久保田八郎会長
宇宙の意識 中田和一…3～4
出会と信念 清水 正…5～8
おたより紹介……9
編集後記、おしらせ……12

新生山形支部を激励

日本GAP会長 久保田八郎

三月末をもって山形支部代表の山口緑氏が東京へ移転し、かわって清水正氏が代表となられ、山形支部がつつがなく存続することになって心から嬉しく思います。こうした研究グループはいうことが大切で、「あのグループはまだやっているのかしら」というようにかくだれかが続けているということから、いずれ注目を浴びるようになるものなのです。日本GAPが、わりと各方面から信用を得ているのも、とにかく二十年間なんとかして続けてきたからで、その意味では努力した甲斐があったと思っています。

新しい代表の清水氏も大変熱心な方で、きわめて温厚篤実にして奉仕精神に溢れ、アダムスキー哲学の解釈と実践も日本GAP中トップクラスの一人ですから、今後の山形支部も同氏をリーダーとすれば必ずや大きく発展するものと確信します。旧代表の山口氏も大活躍をやりましたが、現在は東京本部で私の助手として活動中でして、それなりの意義ある生き方をしています。きわめて有能な人物ですから私もずいぶん助かっていますが、こうした人物の出た山形支部というのは私にとって深い縁があったのかもしれません。

その山形支部が清水氏によって清新な気風をもたらして従来どおり優秀なグループとして続くことを心から願ってやみません。私もできる限りの応援をいたしますから、山形の地元の皆さん方も清水氏をよく援助されて支部を盛り上げて下さい。人数は少なくても問題ではなく、重要なのはアダムスキー問題の比類のない深遠さに対する認識の度合と宇宙の方向にむかおうとする熱意にあります。これによって良きカルマが形成される

かどうかが決まりますから、熱心にまじめに続けてゆかれますならば、大戦争があろうと大変動があろうと必ず助かる運命が身につく筈です。

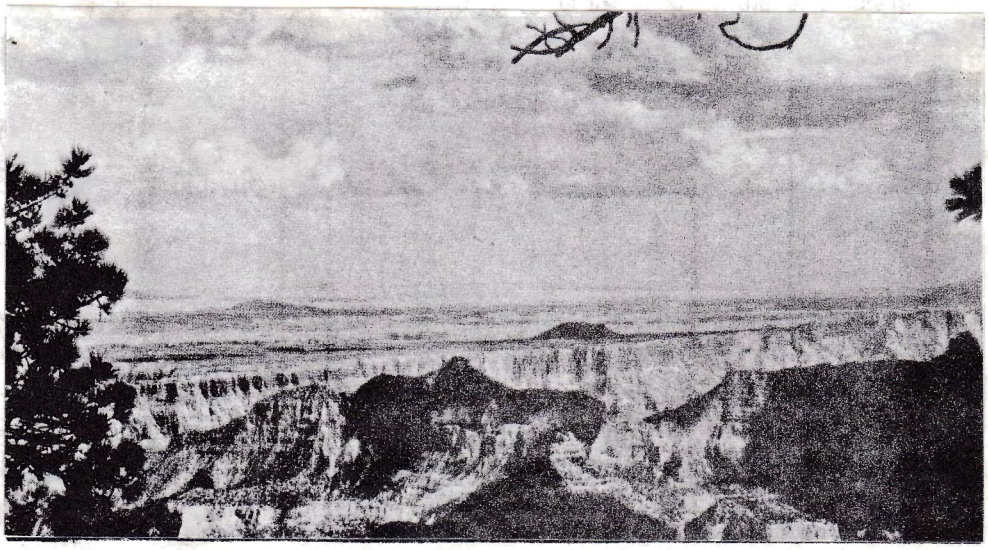
現在GAPをやめてゆく人が多いのですが、こうした人々が〝死者の棺をかつぐ死人〟の群れに巻き込まれてゆく実情は地球の暗い将来を暗示しているかのようにも感じられます。私たちは死人になってはなりませんが、そのためには自己の内部に宿る〝宇宙の英知ある意識〟を自覚して、マインドをその方向に近づけることが肝要で、人間にとってこれ以上のすぐれた生き方はありません。お互いに結束して大宇宙の創造パワーの方向へ前進しようではありませんか。

五月二十四日の仙台・山形合同支部大会で皆さんにお目にかかることを非常に楽しみにしています。

〈付記〉

今年八月に実施予定の「アメリカ縄文宇宙考古学の旅」は応募者が増加して、確実に実施することになりました。

最近ステックリング氏から来た連絡によりますと、「人間は耳で聴いたことはとかく忘れがちですが、眼で見たものは当分の間記憶に残ります。これは眼が魂の一部であるからで、一種の反射体なのです」とあり、今夏のアメリカ旅行で私たちがグランドキャニオンへ行くことを非常に喜んでいました。というのは、グランドキャニオンの大断層こそは地球という惑星の成生を知るのに絶好の場所であるからです。これを各自の眼で見ることによって創造の偉大なパワーを肌で感じるのは素晴らしい宇宙的な体験になります。山形支部からも多数参加されることを切望します。



宇宙の意識

中田和一

初めて静岡支部大会に出席した、その帰りの列車の中、夜景を写す窓を見つめながら私の心には無数の思いが去来してやまなかった。久保田会長がこの大会で強く述べられた"GAPの活動の原点に戻ることという提示は、宇宙哲学研究についての再検討を促し、又、大会に参加された多くの熱心な方々の真摯な姿に接することでは、実践についての私自身の多くの反省すべき点を教えられた。

人間のマインドとは実に不安定で狡猾である。感情、理性、本能、智性などの機能をマインドは持つけれど、それらを作りあげている感覚器官の調和を失った時には多くの混乱の原因となる。時々刻々とその状態は変化し昨日と今日では全く異なったものとなり、アダムスキー氏の哲学を生産の生き方としようとした意志は、知らない間にただ触れてさえいれば良いという消極的なものとなる。

軽い疲労感に、そっと目を閉じた時、思いがけない印象が私の意識を打った。それは、全く意外な、そして穏やかに諭すような言葉であった。

"宇宙の意識を本当に理解していますか？"

「宇宙の意識"＝宇宙哲学において何よりもまず理解すべき基本的な概念であった。アダムスキー氏は、人間の存在目的が父なる宇宙の意識"の娘・息子として英知の無限なる表現者たること、その為に私達に与えられた責任は万物を創造し存在させる宇宙の意識"という無限の力と宇宙意志を私達のマインドと一体化させることを学ぶこと、そしてそれは"触覚"という神より与えられた真の知を認め、現象に現れている因を、又、因の活動を"観察すること"知覚すること"を通じてなされると説いた。

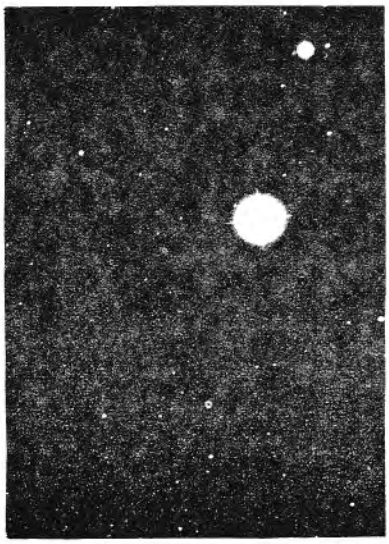
これが私の精一杯の知識であ

り、突然の印象に対する解答であった。しかし……。しかし、これはあくまで言葉による理解である。単なる知識としての理解である。では、私は宇宙の意識を心から認めたこと、完全な親頼感と尊敬の念を持って生活をしているのであろうか？。これまでに与えられた、想念観察、イメージ法といった実践法をわずかの努力ながら続けてきたという自負はあっても、宇宙の意識は実在するのだという強い確信に果たしてつながっていたのだろうか？。

このような疑問がきっかけとなってア氏の「宇宙哲学」を更に深い目で見つめ直そうと再び読み始めている。読み進むうち、以前には決してわからなかったであろう箇所の意味が次第に明瞭となってきた。今回この支部報の表紙裏に載せられた言葉もその一つである。「……観察は我々の最上の教師であるが、因を又は万物が相互に関連し合った目的を見ることを我々は学ぶ必要がある。」幾度となく接して来た言葉であったが、何故かとても新鮮な印象を受けたのである。「相互の関連し合った目的を見る」とは、私達万物が決して分離した存在ではないことを見ることである。"私"と"宇宙の意識"という一対一の縦の関係のみで真に英知を理解することはできない。"私"以外の万物との横の関係に目を向けること、すなわち"宇宙の意識"と"私"、そして他の"万物"という一対一の関係で探究する必要がある。兄弟、親子、友人、そういった強い相互の関連性を持って私達人間は生きていることを"知覚"という すばらしい贈物を用いて学ぶことだ。共に生きることを学ぶことだ。学ぶとは体験であり、意識的に知覚されたものを"思考"によって知恵とすることである。スペースピープルは生を受けると同時に全体という観念を植えつけられるという。これは、最も基本的な宇宙の法則なのであろう。

"全体と自己との関係を理解しない人は生命の目的を持たない放浪者にすぎない。"
－G・アダムスキー

ア氏の哲学の原点に帰り"宇宙の意識"をパーフェクトに親頼することの実践、それは身近な人々との関係において成されねばならないこと、これが今の私に課せられた課題である。



出会と信念

清水　正

出会

この世に生を受けてこのかたなんと多くの人々と出会ったことでしょうか。生れた時のことはわかりませんが、少しづつ月日が過ぎるにつれて一コマ一コマ記憶に残ってきました。最初の記憶といえば、手足の自由がきかなくてつらかった感じでした。母との出会いでは、ずっと私を忍耐でもって育ててくれました。

父と母のことでとても忘れられない想い出があります。私が三才ぐらいの時でしたか、ある朝まくらもとにサンタクロースの靴の中にお菓子が入っているのが置いてあった時でした。その時の両親の笑顔は私の心に残った嬉しい一コマです。

すでに兄姉がいましたが、その時に競争なるものを知りました。なるべくいいものがほしいとかいう子になりたい、嫉妬といったもの様々です。社会というものを知り初めた第一歩となったと思います。

年が流れて小学生の時にとてもすてきな先生と出会いました。その先生はこまっている人を助けること親切などを愛して昔の偉人の行いなどを話してくださったり時々スライドで伝記の人や民話など見せてくださったものです。そんな時間が楽しみで先生の人生観のような話しはとても教訓となりました。そしてちょうどこの時期に本当に正義感に溢れて、こまった人を助けようと考えて様々なことをやりました。例えば廃品を回収して募金をしたり幼稚園の訪問などをしましたが、これを先生にとてもほめていただいて、私自身大変嬉しくなったものです。今でもこの時期は宇宙的なものへの目覚めとなり大切なことを学んだと思っています。

私はこれまで自から人に会いに行くということが多く、人に

対していつも信頼感をもっていました。どこかにすばらしい人がいるという期待感は、他の惑星にはすばらしく発達していて人格者なのだという思いとなりました。それは人が一時は私と友人となってもすぐに離れてゆくことが多かったり、本当に理解しあえたという感覚が味わえないからでした。それでも寂しさ恐怖からか相手に合せさえすれば、いいのではないかと思ったりしないがらつきあっていましたが、人生が物足りない気持ちとなりました。

埼玉に来て一人暮しを初めてからは自立と出会に恵まれました。少しのつきあいでも新鮮さや活気に溢れていましたが、はり寂しい時もありました。やこの時がこれまであまり考えもしなかった人生についてなぜ、といった疑問も強くなり、そういったことを考えている人が大勢いることを知りゆっくり話し合う機会もふえました。

世界のどこかでは戦争があり この日本でさえ競争にあけくれ利己主義がいっぱいではないかれと、なぜみんな仲良くしないのだろう。そんな考えがいつもありましたが、適確な考えはありませんでした。そんな時にアダムスキーを知ることになった訳です。

アダムスキーの本の中には私がこれまで抱いてきたことの解答がすべてありました。

そして、GAPの人たちとの出会いがありました。全国各地のみなさんには大変親切にしていただきました。これまでで最高の出会いはずーと続けていきたいと思っています

出会いは人を完成へと導びくものではないでしょうか。創造主は人に自由意志を与え、多くの人や事にあたらせ学ばせているのでしょう。たまには心地良くない人とぶつかることもあるのかもしれません。すべてを理解するには多くの人と出会い、そして、自分を見つめて正しい道を求めるのが良いのでしょう。

出会いといえば人だけでなく他にもありました。昔飼っていた犬や猫にも忘れられない楽しいひとときや学んだことも多くありました。

自然の中にはたくさんの出会いがあり創造の英知から知ることは限りないと思いました。

人生は、とどまることを知らず、あらゆるものは自分の教師といえないでしょうか。すべてのものが今新鮮で生々としています。私の意志によって細胞は宇宙的な方へも習慣的なほうへも変化します。新しい細胞が宇宙的で、それが創造主の意志を素直に現わすのであるなら、すばらしいことでしょう。

他の惑星では多くの人々が自由に交流していると思います。大調和のもとに今日は金星か次はアニドロメダに旅に出ようかと……

信念

自然を見つめていますと、分裂らしいものが一つもなく、バランスの法則が支配しているように思えてきます。人間が一本の木を倒せば、そのあとに別の種類の植物が成長します。人が環境を変えてゆけば自然はそれに答えてゆきますが、あまりに激しい環境の変化は、人にその代償を払すでしょう。

虫たちが花の受精を手伝い鳥のエサになり、魚に食べられて、植物はじっとその場所で育だち、何かをほこるように花を咲かせ、実を落とし、動物たちはその実をたべます。そんな中で人間は特別でしょうか。けして自然から離れて生きられないのですが、人は自分を自然の上位に置こうとしてきました。今こうして発達してきたのも自然の教訓があったからではないでしょうか。ところが現在にいたって人の心は自然から離れているように思います。

人間が作った社会制度、主義お金のことなどの考えに支配され過ぎて大切なもっとも基本的なことが入りこめないようになっているように思います。

イエスが言われた"死者の棺をかつぐ死人"の話しは、まるで自然の意志に反したマインドで動く、まったくあたりまえのことに気づいてない人を現わしています。

目に見えるものしか信じられないのなら、人がこれほど進歩する訳がなく、自分たちのやってきたことでさえ信じられずに事を分かってむずかしく複雑にしてしまいました。

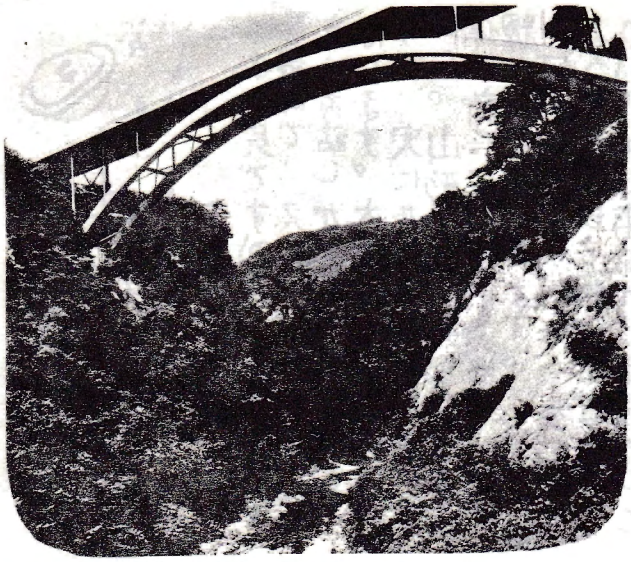
ありがたいことにいつも宇宙の意識は人間を救おうとしています。ですからどんな人でも、ある事件で考え、ある人の出会いによって人生が変ったりもします。

すがすがしい晴れた日に大自然の中に入ってゆけば、多方の人は心がなごみおだやかになってきます。これは、いつも意識のささやきはやって来るということで、その人が受け入れる気持ちがおこれば、いつでも向上できることを示すものではないでしょうか。

人は以前として自分たちの作ったものに夢中となり、労力と時間をついやしています。競争して誰よりも裕福になることや自分の地位の確保にやっきになり心は自由になる余地はありません。むしろ恐怖と分裂が支配するのは当然の成りゆきです。

時々、スポーツをしたり、お酒を飲んでリラックスしたりもしますが、何事につけても一時的になっています。

私も想念観察などをしていることですが、一時の宇宙的な状態と、どうしても抜けきれずにいる習慣想念とが交互にやってきます。しかし絶対に一般の人と違うと思うのは、あくまで宇宙的に生きようという意志があることでしょう。GAPの皆さんも同じと思います。



GAPのたくさんの仲間にも出会って応援をいただき、私の信念は強まるばかりで、これからも山形支部の発展に貢献していこうと思っています。

毎月の月例会にでも、今度の天元台ツアーにも参加してください。私も知らせる運動としても実践を本格的にしていく覚悟です。

本誌バックナンバー

三号

- 7号
  - アダムスキー哲学と人間の目的……柴田文子
  - 健康についてひとこと……本山恒明
  - 生命について考えること……原弘子
  - その他
- 8号
  - 庭先のスケッチ……安藤澄雄
  - アダムスキー哲学に接して……添山晃治
  - ティティカカ湖上空に円盤出現
  - 質疑応答……久保田八郎
  - その他
- 9号
  - 調和……千田光明
  - 信念と親切……山口録
  - アダムスキー哲学までの道……高橋由一
  - 明けの明星……菊地啓子
  - 質疑応答……久保田八郎
  - その他

申込 992 山形県米沢市松が岬三丁目一三 清水正

頒価各100円

おたより

東京　山口緑氏

お元気ですか。

静岡で、久方ぶりにお会いでき、お話しができて大変嬉しく思います。大変な力に満ちておられ、実にたくましく思われました。山形支部も清水さんを主体に新たに生まれ変わり、実に輝かしく思われます。

何かと大変なことも多いでしょうけれども是非がんばって下さい。私も皆様のご支援のもとに、東京へ出てきて、先生のお手伝いを始めましたが、毎日が右往左往で、ひとつひとつが大きな勉強です。

お互いに環境の一大転換でしたが、しかし、これからが本番だと思います。先生も語られておりましたことは、今までは、「予備校」の段階であったが、今後が本番である。今後はスペース・ピープルとのコンタクトに重点を置いてゆく、という壮大な計画を持っておられます。先生は真剣に円盤に乗り、他の惑星へ旅行することを考えられているようです。

ですから「愛」ということは勿論大切なことですが、そうしたことは他の団体も説いている基本的なことですから、GAPとしてはスペース・ブラザーを大いに認識し、テレパシーを送信し、ついにはコンタクトし、他の進化した惑星にゆくということが、真の宇宙的人間であることだと確信しました。

その意味で静岡支部大会は大いなる意義がありました。清水さん、私たちもGAP活動を真髄から展開するために、まず、コンタクトを迎おうではありませんか！勿論、これはアダムスキー哲学を実際本当に生かした上でのコンタクトであり、単なる興味半分のものではありません。ご承知の通り、コンタクトするためには大いに敬虔になり信念があり、知恵がなければなりません。それを全部やり遂げて、コンタクトすることにあると思います。

山形には、中田さんや柴田さんらの素晴らしい方々がおられますから、今後、大いに進展されることと思います。

何かと大変なことが多いでしょうが、お互い助け合ってがんばってゆきましょう。

また大阪と仙台と札幌でお会いしましょう。

仲間さんよりお預りした写真を、静岡でお渡しするのをてっきり、忘れましたので、お送りします。

お母様にもよろしくお伝え下さい。

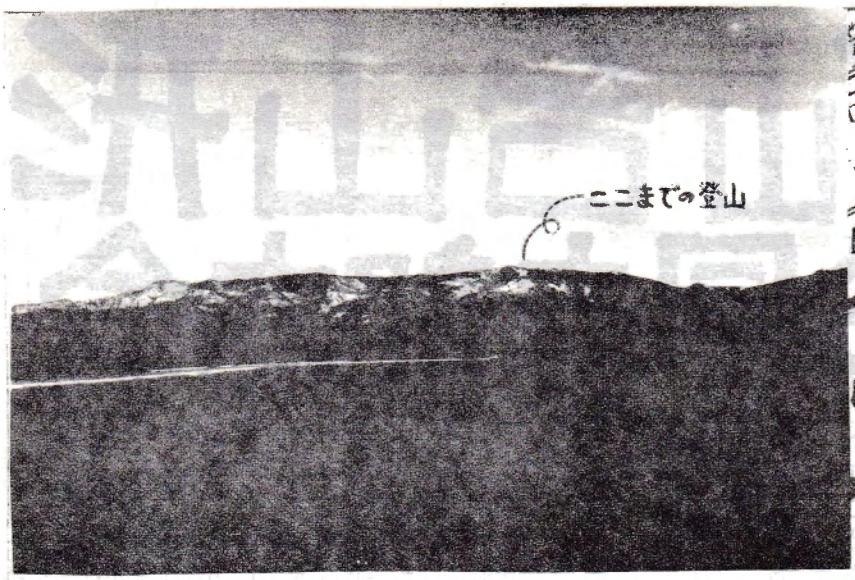
ではお元気で！

一九八一年
五月六日

第2回
日本GAP
山形支部主催

天元台ツアー

（予告）



昨年は少数ながらもすばらしいフィーリングのもとで大成功に終りました。今年はたくさんのかたがたの参加をお待ちしています。大自然ときらめく星のもとで話し合いませんか。

7月18.19　1泊2日　白布温泉天元台

会費　¥5000 程度

申込　992 山形県米沢市松が岬2丁目4-31
清水　正　0238(21)5441

※宿泊場所、その他くわしい予定は未定ですが、確実実現します。

天元台ロホテルで昨年の参加者（上は愛知県、佐賀県、下は青森県中心に、遠方から来てくださいました。）

予告

第2回

仙台山形合同支部大会

本年度は仙台を会場に日本GAP会長、久保田八郎先生をお招きして、徹底的な話し合いのもと素晴らしい宇宙的雰囲気が実現し、盛大な大会となります。久保田会長のご講演は各地方大会で同じ演題でも、内容はちがいますから、仙台山形のフィーリングで話されると思います。期待しましょう。支部会員4名によります講演は、身近な実践談として聞きのがせません。皆様のお越しを心からお待ちしております。

- ●主催　日本GAP仙台支部、山形支部
- ●日時　5月24日(日)　午前10時より
- ●会場　仙台市民会館　0222(62)4721
- ●会費　¥2000

プログラム

10:00	支部代表挨拶	笠原弘可、清水正
10:10	支部会員4名講演	
12:15	―昼食、休憩―	
1:15	講演「アグムスキー問題について」	久保田会長
2:45	記念撮影	
3:15	全員自己紹介、質疑応答	久保田会長

●夕食会　6:30～8:30

会場　精養軒　0222(22)7834
会費　¥3500
申込　980 仙台市東10番丁1番地 国鉄アパート1-18
笠原弘可　0222(95)0725

●お泊り　サンルート仙台　0222(62)2323
¥4000

日本GAP
山形支部月例研究会

定期開催が理想ですが事情により会場・日時の変更をいたします。これから夏に向かって多彩な催物で活動が活発化します。

5月の例会は中止
5月24日 仙台・山形合同支部大会
6月14日 月例会…福祉文化センター 0238(43)5181
7月5日 月例会…山形市民会館 0236(22)3127
7月18,19日 天元台ツアー

- 会費 200円
- 持参品 テレビシーツ生命の科学
  遺伝子研究問題
- プログラム
  ① 久保田会長の東京例会における「宇宙哲学」講義録音テープ公開
  ② 意見発表
  ③ テレビシーツ録画
  ④ 座談会

編集後記

- これまで山形支部代表をしておられました、山口緑さんが、さらなる活躍をされるべく東京本部へ移転されました。これほどまでに山形支部を盛り上げてくださった山口さんに深く感謝する次第です。
- 今回は久保田会長に「新生山形支部を激励」という大変勇気のわく特別寄稿をしていただきました。会長には深く感謝いたします。
- 同じ米沢市にあります日本GAP会員・中田和一氏には支部報発刊にあたり、表紙そのほかたいへんなご協力をいただきました。なにごとも近くに同じ志しをもった友がいることは心強いかぎりです。
- 5/4に行なわれました日本GAP群馬支部大会に参加してまいりましたが、信念溢れる仲間がたがいの熱意と親切に素晴らしい感動を覚えて帰ってまいりました。当日はぬけるような青空で気持ちも良くて、列車の中から約2時間弁当なしでアッリ部が続いて、この世の中の低劣な習慣がまるで入っていないかのような高次元なアッリ部がありました。にとっては何かと意義深い大会でありました。
- この大会で活躍されました野口氏・静岡の会員の方々に感謝致します。
- 仙台・山形合同支部大会は着々と準備が進み全国各地から多くの参加が見込まれます。ご期待ください。
- なにぶんこういった会報は初めてです。山口さんのようにうまくはできませんが、このさい、文才・編集の良さかげんを形成してまいりたいと思います。皆様からのご意見、ご感想、投稿をお待ちしています。これからの支部報の充実にご協力をお願いします。
- 宇宙の意識はその人の望むことを与えてくれると思います。宇宙の相和ある一員として、よき想念・行動をもって会員も別進してゆきましょう。

(清水)

日本GAP山形支部機関誌
ユニバーサルメッセージ10
編集発行人 清水 正
発行所 日本GAP山形支部
992 山形県米沢市松が岬2-4-31
TEL0238(21)5441
1981 5/12
頒価 100円